



新型コロナウイルスから命を守る。

感染予防の徹底を

問い合わせ 健康増進課 (☎ 8 5 - 6 1 6 8)

VEHICA

今もなお感染が急増している
新型コロナウイルス感染症。

いつ、どこで、誰が感染する
か分からない、見えない脅威が
拡大しています。感染者には無
症状や軽症も多く、自覚がない
まま他人と接触し、感染を拡げ
てしまう恐れもあります。

感染を予防するためには、一
人一人が効果的な予防方法を理解
し、感染予防を日頃から習慣付け
ることが大切です。

自分自身や大切な人の命を守る
ため、効果的な感染予防を徹底し
ましょう。

ドアノブや電車のつり革など、さまざまなものに触れることにより、知らないうちにウイルスが付着しています。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。

アルコールを含んだ消毒薬を使用する場合も、手洗いと同じ手順でしっかり擦り込みましょう。



①手のひら
流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこする。



②手の甲
手の甲をのばすようにこする。



③指先・爪の間
指先・爪の間を念入りにこする。※爪は短く切りまじょう。



④指と指の間
指の間を洗う。



⑤親指の周り
親指と手のひらをなじり洗います。



⑥手首
手首を忘れずに洗う。



効果的な手の洗い方

※石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

子どもも大人と一緒に効果的な手の洗い方を身につけ、手洗いを習慣付けましょう。

咳エチケット

くしゃみや咳の飛沫（ひまつ）には、ウイルスが含まれているかもしれません。咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、そこを触れた他人にうつす可能性があります。

次の咳エチケットを心掛けましょう。

- ▼マスクの着用（口・鼻を覆う）
- ▼ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う



口・鼻をしっかりと覆う

- ▼袖や上着の内側で口・鼻を覆う
- ▼周囲の人からなるべく離れる

「効果的な予防方法」は、動画でも見られます

ケーブルテレビ (CCNet) 「市政だより」

放送期間：4月27日(月)～5月3日(祝)

春日井市 YouTube チャンネル

公開開始日：4月28日(火)



市ホームページ

次の症状がある人は春日井保健所内、帰国者・接触者相談センター（☎31-2189）にまずは相談してください。

- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
 - 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- ※高齢者や基礎疾患などのある人、妊娠している人は、前述の状態が2日程度続く場合



新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、経済活動や社会生活の深刻な状況は地球規模となっており、何よりも人の命の犠牲が深刻さを増しています。

日本においても、感染者数が毎日急増し、初めて緊急事態宣言が発令されました。特效薬やワクチンがまだ見つかっていない、正体の見えないウイルスとの闘いの真っただ中にあります。

先日、100年前に大流行したスペイン風邪の記事を読みました。スペイン風邪は、1918年に流行が始まり、全世界で感染が確認され世界人口の約30%が感染し、3年経った1921年によくやく終息したという記録が残っています。

日本では、発生から半年後にピークを迎え、当時の人口

約5500万人に対し40%以上の約2300万人が感染したとのことです。

対策については、アメリカの例では、発生後、速やかに集会を禁止し外出を徹底的に取り締まった州と徹底できなかった州とでは、感染者数が2倍以上違ったとのことです。「早く、隔離の徹底」の教訓です。

今回の新型コロナウイルスとの闘いは、一人一人が感染防止に向けた意識をしっかりと持ち、

- ① 手洗いを励行する。
 - ② 「3密」を徹底的に避ける。
 - ③ 不要不急の外出を行わない。
- といった、「うつさない」「うつされない」ための、一人一人の行動にかかっています。
- 全員で予防、拡大防止を徹底的に行い、この困難を乗り越えましょう。